

経済的側面

さらなる発展・成長に向けた研究開発

研究員数
約 **700** 名

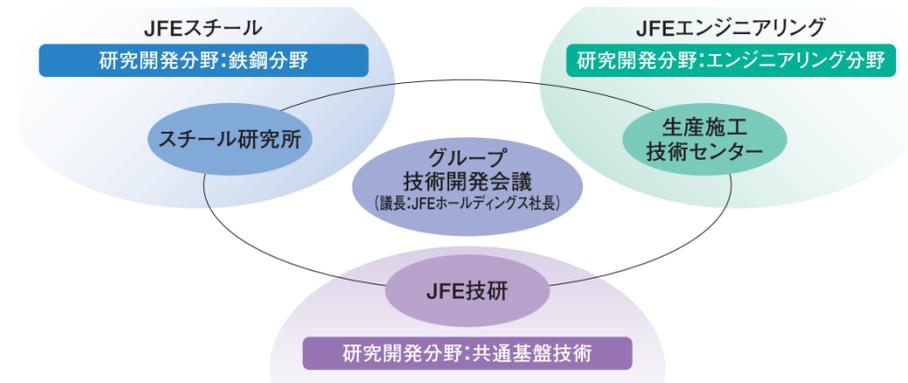
特許出願件数
1,800
件/年以上

JFEグループの研究開発体制

JFEグループは、世界最高の技術をもって社会に貢献することを企業理念として、各事業会社において創造性の高い研究開発を効率的に展開するとともに、JFE技研を中心にグループ各社間での連携を強めた研究開発を推進しています。グループ全体の研究開発戦略の策定や、横断的に取り組むべき重要課題の選定・推進は、JFEホールディングス社長を議長とする「グループ技術開発会議」の場で行っています。

グループ全体の研究員数は約700名、

研究員以外の開発スタッフを含めると約1,000名規模の開発陣容を誇り、年間1,800件以上の特許を継続的に出題するなど、鉄鋼・エンジニアリングをコアとする企業グループでは世界最大規模の研究開発体制です。研究員の専門分野は多岐にわたり、その英知が集まることで数々のシナジー効果も発揮されています。その成果は、2006年度で13件、過去3年間で43件の外部からの技術表彰としても現れています。



JFE技研



代表取締役社長
北田 豊文

当社は、「将来にわたるニーズを洞察し、保有する『要素技術』の高度化・水平展開・有機的統合により、JFEグループに新たなコンセプトを提案・実践する」という基本

的な役割のもとに研究開発を進め、JFEグループの企業価値向上に貢献します。

鉄鋼事業に関しては、高度な要素技術を駆使することにより、現象の本質にまで遡り、全体最適の視点での新プロセス開発や新商品開発あるいは事業継続性の観点からの研究開発を推進します。エンジニアリング事業に対しては、多様な要素技術を最大活用し、事業の新展開や領域拡大を研究開発面から強力にサポートします。

未来の自動車づくりを支える鉄鋼材料研究

自動車の燃費向上のための軽量化、衝突安全性向上には、素材そのものの高機能化が不可欠です。JFEスチールでは、自動車の性能を向上させるさまざまな自動車用高級鋼を開発しています。

自動車足回り部品の軽量化に貢献する強度と加工性を両立した高張力鋼板「ナノハイテン」、自動車構造骨格部品の軽量化や衝突安全性の向上に貢献する加工性に優れた高張力鋼板「WQハイテン」、環境汚染物質を含まず最高レベルのプレス成形性を実現した自動車外板用の高潤滑性合金化溶融亜鉛めっき鋼板「JAZ」、超高温で

の使用に耐える世界で唯一のフェライト系ステンレス鋼管エキゾーストマニフォールド用「JFE-WX1」など、数多くの世界最高品質の高級鋼を開発し、自動車の高性能化に貢献しています。

また、スチール研究所では、自動車分野のお客様を対象としたEVI (Early Vendor Involvement) 活動の拠点としてカスタマーズ・ソリューション・ラボ (CSL) を開設し、自動車メーカー、部品メーカーのお客様と対話をしながら、お客様の未来の自動車づくりをサポートしています。オープンからの来場者は900名を超え、お客様との共同研究や課題解決へのご協力などを推進しています。

外部技術表彰
受賞件数

43
件/過去3年

